

## 第64回大澤駅伝競走大会



2月2日、運動公園陸上競技場を発着・中継点として開催されました。

この駅伝大会は、3千メートル障害で日本記録を樹立しながら、太平洋戦争で戦死した大澤龍雄さん(佐野市牧町出身)の追悼行事として、昭和26年に始まった歴史ある大会です。

大会には、大澤さんの母校である日本大学もオープン参加し、一般男子、高校男子、中学男子、一般・高校女子、中学女子の5部門で、総勢144チームが出場。運動公園周辺の周回コースを舞台に、各選手による熱戦が繰り広げられました。

なお大会の結果は、市ホームページのニュースのページ(<http://www.city.sano.lg.jp/news/>)からご確認ください。

## 第24回佐野市郷土芸能フェスティバル



1月26日、道の駅どまんなかたぬまで、第24回佐野市郷土芸能フェスティバルが開催されました。

当日は、佐野市郷土芸能保存会連絡協議会に加盟している14団体のうち、神楽、木遣、八木節、お囃子など8団体が参加。出演者は、会場に詰めかけた大勢の観客の前で、堂々と伝統の技を披露しました。

## 新庁舎建設工事の現状



2月10日撮影・堀削状況 2月11日撮影・工事現場全景



新庁舎建設工事については、平成25年9月定例会において、工事請負契約締結について市議会に議決をいただき、平成25年10月から着工しています。

現在は、掘削工事を行っています。今後は、基礎工事や鉄骨建方を実施する予定です。なお、新庁舎建設工事現場の東側の仮囲いの一部が、透明パネルになっていますので、現場内の様子が直接ご覧いただけます。

また、市ホームページの「新庁舎建設課のページ」(<http://www.city.sano.lg.jp/kakuka/shinchousya.html>)において、「新庁舎建設工事の進捗状況について」の欄から現場事務所作成のホームページをご覧いただけます。

## 佐野田沼インター産業団地 第1期分譲予約立地協定書調印式

2月12日、佐野田沼インター産業団地第1期分譲予約立地協定書調印式を行いました。

佐野田沼インター産業団地は、佐野田沼インターチェンジから北西約1キロメートル、国道293号に接する石塚町、戸奈良町に位置する団地面積約17.7ヘクタールの現在造成中の産業団地です。

平成26年4月からの分譲にあたり、3社合同で立地協定の調印を行いました。調印式を行った企業は以下の通りです(順不同)。

企業名	業種
タムムラデリカ(株)	食料品製造業
三州食品(株)	食料品製造業
(有)サカ工商事	一般貨物運送業

※同産業団地の詳細は、ホームページ(<http://www.city.sano.lg.jp/sangyoudanchi/index.html>)へ



## 第3回R293美術展2014



1月29日から2月16日まで、文化会館において、第3回R293美術展2014が開催されました。また、2月5日から11日まで葛生あくとプラザでも、5人のアーティストの作品が展示されました。

開催中のイベントとして、文化会館ではオープニングセレモニーが開催され、出展アーティストたちによるギャラリートークやネオ・クレイトーン・アンサンブルによるオカリナコンサートがありました。また、当日は障害者施設「プロニューの森」による心温まる無料のコーヒーサービスがありました。



作品に直に触れて、感動的な共鳴を覚えました。このような美術展を開催することは、市民に豊かな心を育み、地域の教育文化を育てることでしょう。(市民記者 佐藤久夫)

(市民記者 森下喜一)

気がいらいらして腹が立つことをゴセヤケル(ゴセツバラヤケル)といいます。ゴセは「後世」で死後の世界、ヤケルは「焼ける」で、あれこれと世話がかかるという意。この方言には、今後どうなるかを案じ、いらだつ気持ちがよく表れています。ゴセヤケルは、明治・大正頃に使われた古い方言です。

「思うようになンネ(ならない)」と、イジガヤケてねえ」

「あの人と世間話をしていたら、何が何だかわかん

「腹を立てる」の意を強める働きをします。

「ハーシッタコト(つまらないこと)にツンバラタテルなんて大人げネー」

「あの人と世間話をしていたら、何が何だかわかん

「腹を立てる」の意を強める働きをします。

「ハーシッタコト(つまらないこと)にツンバラタテルなんて大人げネー」

「あの人と世間話をしていたら、何が何だかわかん

「腹を立てる」の意を強める働きをします。

「ハーシッタコト(つまらないこと)にツンバラタテルなんて大人げネー」

「あの人と世間話をしていたら、何が何だかわかん

「腹を立てる」の意を強める働きをします。

「ハーシッタコト(つまらないこと)にツンバラタテルなんて大人げネー」

## 唐沢山城跡講演会



2月1日、文化会館小ホールにて唐沢山城跡講演会を開催しました。

今年の講演会は、国指定史跡化記念事業のプレ事業として行われ、講師には静岡大学名誉教授の小和田哲男さんをお招きしました。

小和田さんは、唐沢山城跡の見所や、唐沢山城攻防の歴史と城の造りについて、解説をまじえながら分かりやすく説明してくれました。

また、小和田さんが時代考証に関わった2014年のNHK大河ドラマ「軍師官兵衛」についてもお話いただき、参加者は熱心に聞き入っていました。



左野 ぼんたい

### 「怒る」の内容によって 変わる方言

「怒りの気持ちを表すことばは、一般に「腹を立てる」「怒る」といいますが、その気持ちを感情的に強く表すことばには、「目くじらを立てる」「向ッ腹を立てる」などがあります。このように気分や感情によって言い方が異なります。

方言も同様です。人の話を聞いて、これといった理由もなく腹を立てることをモッコバラタテルとい

「あの人と世間話をしていたら、何が何だかわかん

「腹を立てる」の意を強める働きをします。

「ハーシッタコト(つまらないこと)にツンバラタテルなんて大人げネー」

「あの人と世間話をしていたら、何が何だかわかん

「腹を立てる」の意を強める働きをします。

「ハーシッタコト(つまらないこと)にツンバラタテルなんて大人げネー」

「あの人と世間話をしていたら、何が何だかわかん

「腹を立てる」の意を強める働きをします。

「ハーシッタコト(つまらないこと)にツンバラタテルなんて大人げネー」

